

平成29年度 CSO提案型協働創出事業提案一覧（市町への提案）

番号	事業名	提案概要	担当部署	採否	協働の形態	判断結果
1	小学校の臨時休校時の受け入れ態勢 おかえりやin桜岡小学校	休校になった際、自宅にひとりで待機しなければならない子どもたちに対し、学校の図書館と体育館を開放することにより、地域ボランティアが子どもたちを見守り、親は安心して子供を預けることができ、子供の安全を守ることができるようにする。	(小城市) 学校教育課 防災対策課	不採択	-	小城市では、台風、大水、地震、大雪などにより災害が予想されるとき、児童生徒の安全確保のため、「自宅待機」として臨時休校を行っている。災害は刻一刻と変化があり、児童の安全確保を考えた場合、学校が必ずしも安全とは言えず、保護者の管理下にある自宅待機を優先して実施しているところである。したがって、災害時に学校管理棟にある図書室や体育館を開放することは難しいと考える。 提案の趣旨は理解でき、非常に良い試みだと考えられ、保護者の希望も多いことが予想されるが、受け入れ体制の整備及び指導員の指導力の確立も必要だと思われることから、本提案については不採択とする。
2	小城市の子どもに関わる仲間たち 全員集合！ 「子育て応援サミット」事業	小城市の子どもに関わる全てのグループ、団体、組織、個人などの情報を集め、年2回交流会「子育て応援サミット」をひらくことで、小城市で活動している、またはこれから活動していきたいと思っている、子どもに関わる団体の情報を洗い出し、つながりをもつことで一緒に協力できること見出す。	(小城市) 企画政策課	不採択	-	子どもに関わる大人が増えることは、本市の子育て支援や青少年健全育成の面でも大変良いことと思うが、提案いただいた事業は、対象や内容が具体的ではないため、今回は不採択とする。 小城市には、佐賀県より地域で子育てを支える環境をつくるため、「地域ツズサポーター」が派遣されているため、地域ツズサポーターとの連携をお願いしたい。
3	「こころのケア講座」実施事業	パートナーのいる男女、傷つきを抱えている人、虐待や性暴力にあった人に対し、心のケア講座を実施する（12回講座）。受講者が自分自身の中にある傷つきや、トラウマに気づいたり、感情やその行動が起こる仕組みを知ることで、自分自身の回復への力となるようにする。	(小城市) 社会福祉課	不採択	-	小城市では、社会福祉課でDVに関する相談を受け付けているが、DVや性暴力、虐待などの暴力を受けた方、受けられている方への心のケアに対する講座形式での支援は、現在行っていない。DV・トラウマなどによる心の傷を癒すという支援は必要であると考えますが、個別の相談を充実させることにより対応していきたいと考える。 よって、本提案については現時点では不採択とする。